

第3回あつぎ子ども議会（中学生議会）会議録

厚 木 市

第3回あつぎ子ども議会（中学生議会）会議録

平成30年8月22日（水）午後1時15分開会

出席議員 28人

1番	森の里中学校	土	川	優	真
2番	小鮎中学校	後	藤	宥	輝
3番	依知中学校	山	崎	悠	稀
4番	厚木中学校	牧	野	亮	介
5番	南毛利中学校	加	藤	千	宗
6番	林中学校	内	田	詠	里子
7番	林中学校	鳥	海	綾	花
8番	東名中学校	井	上	尚	久
9番	東名中学校	岡	本	拓	和
10番	玉川中学校	齋	藤	純	菜
11番	小鮎中学校	渡	邊		杏
12番	厚木中学校	望	月	海	璃
13番	睦合東中学校	常	盤	美	海
15番	厚木中学校	市	川	純	暉
16番	厚木中学校	川	津	颯	大
17番	東名中学校	米	山		遼
18番	東名中学校	阿	閉	純	也
19番	森の里中学校	小	島	里	奈
20番	林中学校	金	井	実	乃里
21番	玉川中学校	飯	田	稔	彦
22番	東名中学校	小野	寺	快	理
23番	厚木中学校	新	井	大	輝
24番	厚木中学校	尾羽	澤		士
25番	厚木中学校	佐々	木		蒼
26番	小鮎中学校	白	井	大	樹
27番	厚木中学校	蒲	生	音	杏
28番	睦合中学校	小	林	響	晃
29番	東名中	榊	本	雄	也

欠席議員 1人

14番 厚木中学校 菅原 淳志

説明のための出席者

市長	小霜	林島	常宏	良美
副市長	霜松	島本	徳世	彦郎
副市長	井鳥	樋井	健一	明薫
理事（農林水産担当）	佐野	藤元	廣	幸一
市長室	吉	岡	淳博	史子
政策部	齊安	藤齊	岳優	茂子
オリンピック・パラリンピック担当部	澁野	谷元	寿美	重聡
総務部	山小	口村	利	忠亮
行政総務課	松井	尾上	英明	明夫
財務部	小片	島桐	芳	茂基
福祉部	荒加	井藤	憲佐	清満
市民健康部	弌沼	持田	重	宏正
子ども未来部	前足	場原	高	喜晃
協働安全部	藤井	川上	雅	治也
セーフコミュニティ担当部	鈴内	木田	佳	親巳
環境農政部	曾山	田口	正	二
環境施設担当部	山佐	後島	裕	治
産業振興部	霜古	澤井	佳	雄
まちづくり計画部	荒大	塚	民	
許可担当部				
都市整備部				
市街地整備担当部				
道路部				
国道調整担当部				
会計管理				
消防				
病院事業局長				
教育				
教育委員会教育総務部長				
教育委員会学校教育部長				
教育委員会社会教育部長				
選挙管理委員会事務局長				
監査事務局長				
農業委員会事務局長				

事務局出席者

事務局	府	川	浩	明
議会議長	神	崎	俊	一
議会議長	大	森	和	彦
議会議長				

速記員出席者

(株)澤速記事務所速記士	大	場	久	美

議 事 日 程

- 1 議席の指定
- 2 会議録署名議員の指名
- 3 会期の決定
- 4 一般質問

番号	学校名	子ども議員名	質問要旨
1	森の里中学校	土川優真	子供の人数が減っている問題について、どのように考えていますか。
2	小鮎中学校	後藤宥輝	保育施設を設ける考えは。
3	依知中学校	山崎悠稀	山際へ広域避難場所を整備する考えはありますか。
4	厚木中学校	牧野亮介	街灯をもう少しふやしてもらい、あたりをもっと明るくしてもらえないか。
5	南毛利中学校	加藤千宗	自転車及び歩行者専用の道を整備することはできないのですか。
6	林中学校	内田詠里子	街灯やカーブミラーをふやす予定はありますか。
7	林中学校	鳥海綾花	今後、自転車専用の道路をつくる予定はありますか。
8	東名中学校	井上尚久	厚木市は、2020年以降の教育改革による対応によって、何がどのように変わっていくと考えていますか。
9	東名中学校	岡本拓和	いじめの対策について、厚木市は現在どのようなことをしていて、これからどのようなことをしていくのか。
10	玉川中学校	齋藤純菜	私たち子供は、インクルーシブ教育のために、具体的には何をしたらよいのでしょうか。
11	小鮎中学校	渡邊杏	学校給食をもっとおいしくできないでしょうか。
12	厚木中学校	望月海璃	学校の最終下校時刻を決める基準は。
13	睦合東中学校	常盤美海	I S S に向けての活動を厚木市のすべての小中学校で行う考えは。
(注1) 14	厚木中学校	菅原淳志	もう少し自転車道路を広くできないか。厚木市の考えは。(P9 注1-1を参照)
15	厚木中学校	市川純暉	道路に凹凸の減速帯をつけ、車のスピードを抑えるなどの対策はできないでしょうか。厚木市の考えは。
16	厚木中学校	川津颯大	滑りやすい歩道の改善はできませんか。
17	東名中学校	米山遼	厚木市の木、厚木市の花はどのように決まったのですか。また、今後変更されることはありますか。
18	東名中学校	阿閉純也	厚木市では外国の方の生活や教育について、どのような政策をとっていますか。

番号	学校名	子ども議員名	質問要旨
19	森の里中学校	小島里奈	東京オリンピック・パラリンピック競技大会期間中に、英語を生かせるようなボランティア活動などの中高生が参加できる支援事業は検討されているか。
20	林中学校	金井実乃里	厚木市に野球場をつくる予定はあるか。
21	玉川中学校	飯田稔彦	スポーツ施設の利用について、安全に利用するための改善策は。
22	東名中学校	小野寺快理	森の里東土地区画整理事業では、どのようなメリットがあるのですか。また、森の里東土地区画整理事業以外にも区画整理する予定、構想などはありますか。
23	厚木中学校	新井大輝	厚木市として未来に向けて、まちの活性化のためにどのようなことをしているのか。
24	厚木中学校	尾羽澤士	中学生が公園の遊具で楽しめるポイントは。
25	厚木中学校	佐々木蒼	ラグビーチームのキャンプ受け入れにより、荻野運動公園を利用する方にはどのような影響がありますか。

本日の付議事件

- 1
- く 議事日程に同じ
- 4

○川口 仁実行委員長 皆様、こんにちは。
第3回あつぎ子ども議会にご参加をいただき
まして、まことにありがとうございます。

開会前に申し上げます。厚木市では、8月
4日の沖縄県糸満市との友好都市締結にちな
み、友好促進とクールビズの一環として、か
りゆしウエアを導入しております。市議会議
員及び市の答弁者等がかりゆしウエアを着用
しておりますが、ご理解をいただきますよう
お願い申し上げます。

続きまして、出席者のご紹介をさせていた
だきます。

初めに、子ども議員を紹介いたします。

子ども議員の前列から順に紹介しますの
で、名前が呼ばれましたら、元気よく返事を
していただき、起立、礼、着席の順でお願い
します。

森の里中学校・土川優真議員。

○土川優真議員 はい。

○川口 仁実行委員長 小鮎中学校・後藤宥
輝議員。

○後藤宥輝議員 はい。

○川口 仁実行委員長 依知中学校・山崎悠
稀議員。

○山崎悠稀議員 はい。

○川口 仁実行委員長 厚木中学校・牧野亮
介議員。

○牧野亮介議員 はい。

○川口 仁実行委員長 南毛利中学校・加藤
千宗議員。

○加藤千宗議員 はい。

○川口 仁実行委員長 林中学校・内田詠里
子議員。

○内田詠里子議員 はい。

○川口 仁実行委員長 林中学校・鳥海綾花
議員。

○鳥海綾花議員 はい。

○川口 仁実行委員長 東名中学校・井上尚
久議員。

○井上尚久議員 はい。

○川口 仁実行委員長 東名中学校・岡本拓
和議員。

○岡本拓和議員 はい。

○川口 仁実行委員長 玉川中学校・齋藤純
菜議員。

○齋藤純菜議員 はい。

○川口 仁実行委員長 小鮎中学校・渡邊杏
議員。

○渡邊 杏議員 はい。

○川口 仁実行委員長 厚木中学校・望月海
璃議員。

○望月海璃議員 はい。

○川口 仁実行委員長 睦合東中学校・常盤
美海議員。

○常盤美海議員 はい。

○川口 仁実行委員長 厚木中学校・菅原淳
志議員。都合により本日は欠席でございま
す。

厚木中学校・市川純暉議員。

○市川純暉議員 はい。

○川口 仁実行委員長 厚木中学校・川津颯
大議員。

○川津颯大議員 はい。

○川口 仁実行委員長 東名中学校・米山遼
議員。

○米山 遼議員 はい。

○川口 仁実行委員長 東名中学校・阿閉純
也議員。

○阿閉純也議員 はい。

○川口 仁実行委員長 森の里中学校・小島
里奈議員。

○小島里奈議員 はい。

○川口 仁実行委員長 林中学校・金井実乃
里議員。

○金井実乃里議員 はい。

○川口 仁実行委員長 玉川中学校・飯田稔
彦議員。

○飯田稔彦議員 はい。

○川口 仁実行委員長 東名中学校・小野寺
快理議員。

○小野寺快理議員 はい。

○川口 仁実行委員長 厚木中学校・新井大
輝議員。

○新井大輝議員 はい。

○川口 仁実行委員長 厚木中学校・尾羽澤
士議員。

○尾羽澤 士議員 はい。

○川口 仁実行委員長 厚木中学校・佐々木蒼議員。

○佐々木 蒼議員 はい。

○川口 仁実行委員長 小鮎中学校・臼井大樹議員。

○臼井大樹議員 はい。

○川口 仁実行委員長 厚木中学校・蒲生音杏議員。

○蒲生音杏議員 はい。

○川口 仁実行委員長 睦合中学校・小林響晃議員。

○小林響晃議員 はい。

○川口 仁実行委員長 東名中学校・榎本雄也議長。

○榎本雄也議長 はい。

○川口 仁実行委員長 次に、厚木市議会議長を紹介いたします。

子ども議員の皆様の後ろ、難波達哉厚木市議会議長です。

○難波達哉厚木市議会議長 こんにちは、よろしく申し上げます。

○川口 仁実行委員長 次に、市の関係者を紹介させていただきます。

子ども議員の皆様から向かいまして左手前列、右から、小林常良厚木市長です。

○小林常良市長 よろしく申し上げます。

○川口 仁実行委員長 そのお隣が霜島宏美副市長です。

○霜島宏美副市長 こんにちは、よろしく申し上げます。

○川口 仁実行委員長 そのお隣が松本徳彦副市長です。

○松本徳彦副市長 よろしく申し上げます。

○川口 仁実行委員長 右手前列に参りまして、曾田高治教育長です。

○曾田高治教育長 こんにちは、よろしく申し上げます。

○川口 仁実行委員長 最後に、両側の2列目以降につきましては市の各部長となりますが、お手元に配付の資料により紹介とさせていただきますので、よろしく申し上げます。

それでは、子ども議員の皆様並びに理事者

の皆様、ご起立願います。

一同、礼。

ご着席願います。

ここで難波達哉厚木市議会議長から挨拶をいたします。

○難波達哉厚木市議会議長（登壇）子ども議員の皆様、こんにちは。（「こんにちは」との声あり）元気がないですね、こんにちは。（「こんにちは」との声あり）

私は、今紹介いただきました厚木市議会議長の難波達哉と申します。議会を代表して一言ご挨拶を申し上げます。

まずは、ことしもこうして第3回目を迎えるあつぎ子ども議会（中学生議会）が、きょうは1人、菅原さんが体調不良で欠席になりますけれども、28人、子ども議会議員の皆様方をお迎えして盛会に開催できました。心から感謝と、そして歓迎を申し上げます。

また、今回ご協力をいただきました小林市長を初め理事者の皆様方にも、心から感謝申し上げます。ありがとうございます。

さて、これまでも、夏休みということで、皆さんも宿題とか部活とか、いろいろ忙しい中ではありますが、リハーサルを重ねてこられました。本当に堂々としておりました、どうですか、きょう、また本番を迎えた中で、大分雰囲気は違いますよね。緊張していることだと思います。そういう中でありますけれども、ぜひ自信と誇りを持って、きょうは議会を体験していただきたいと思っております。

本当にこの場所、もう承知だと思いますけれども、我々議員がいつもここに座って、皆様方が今まで余り考えないといひますか、ふだん生活をしている中で、例えば学校のこと、あるいは部活動で帰るときの道路のこと、それから、ちょっときょう暗いなと思えば、街路灯のこと、防犯灯のこと、いろいろなことを、実はこの場所で我々が議論をして、そして意思決定をしている大事な機関でもあります。きょうはそういう場所に皆様方は座っております。そして、前に名前がついている黒柱がありますけれども、そこの下に

は実は我々の名前が今入っております、我々28人がそこに座って、それぞれの地域のこと、それから厚木のこと、また、子供たちのこと、お年寄りのこと、いろいろなことを日ごろから考えて議論をしている大事な場所でもあります。そういう意味でも、きょうは本当に大事な経験だと思っておりますので、頑張っていたきたいと思いますと思っております。

そして、ちょっと後ろを見ていただきますと、きょうは保護者の方、おじいちゃん、おばあちゃんを含めて大勢来られております。大勢のギャラリーもおられますけれども、緊張せずに、とにかく堂々と元気よく、頑張っていたきたいと思います。

そしてもう1つは、きょうはやはり28人ということで、各地区のふだん交わりのない中学生の子供たちが大勢来られております。ぜひ議会が終わった後、このイベントが終わった後は、それぞれ子供同士でいろいろな意見交換もさせていただいて、このときに培った仲間というものをこれからも大事にしていきたいと思っております。

何度もになりますけれども、とにかくきょうは中学生義務教育最後の大きなイベントであります。ぜひ思い出に残るすばらしい子ども議会としていただきますように、そして本当に自信と誇りを持って、頑張ってお話を聞いていただきたいと思っております。

それぞれのグループで、30分、35分ということで与えられた時間があると思っております。それぞれ質問させていただいて、そして市長のほうからも答弁をしていただきますけれども、納得がいかないということがあれば、その時間内、幾つでも再質問ができますので、ぜひどんどん自信を持って再質問もしていただきたいと思っております。

それでは、短い時間、限られた時間でありませうけれども、きょう1日よろしくお祈りいたします。ありがとうございます。

○川口 仁実行委員長 ありがとうございます。

次に、小林常良厚木市長からご挨拶をいただきます。

○小林常良市長（登壇）皆さん、こんにちは。ようこそ、厚木市議会議場においでいただきまして、お礼を申し上げます。市長の小林常良と申します。

子ども議員の皆さん、第3回目となります。あつぎ子ども議会（中学生議会）においでいただきました。きょうは、厚木市民22万5000人の方々の思いを受けて、議員というお立場で、私どもと意見を交換し、議論をしていきましょう。民主主義の一番の原点であります。皆様方は、ある意味、間接的でありますけれども、議員さんという立場に、市民の皆さんから信任されてなつてこられた。実は私も同じ立場であります。そういう関係にあるということです。

きょう、子ども議員の皆さんは、それぞれ自分の思いはあると思っております。それは結構な話だと思っております。ただ、大切なことは、一方では、自分の意見と同時に、自分の意見は多くの人たちに受け入れられていくのか、こういう側面もあるということも認識をしていく必要がある。自分の意見だけで社会に通用するのかということも含めて、皆さんも公の立場ということでもありますし、私どもも、今、大勢並んでいますけれども、皆さんの声には真摯にお答えをしていく。

平成30年度、厚木市のテーマは「誠実」という言葉であります。誠に実るという字であります。人様に対しては心を込めて誠実に接していく。こういう姿勢を持って、厚木市政のことしの1年、ちょうどお正月、ことしのスタートに、この2文字を多くの方々にメッセージとしてお伝えし、スタートした。ことし、「誠実」を通して懸命に市民の皆さんのために働く。

ここに座っている部長の皆さんを含めて、職員は病院や消防の職員を入れると約2000人おりますが、この職員は何のために、誰のために働いているか。これは市民の皆さんのために、明確な目標を持って、市民の皆さんから、ありがとうございます、大変よくなりました、そういう感謝の言葉がいただけるように努力をしていく。これが私どもの使命と思

っておりますので、よろしくお願いを申し上げますたいと思います。

きょうの経験をぜひ生かしていただいて、今後の学校生活を含め、これから皆さんはどんどんどんどん成長していくと思います。社会の中で、社会に貢献できる人間として、どんどん成長していくと思います。それには、やはり前向きにチャレンジをしていくことも必要でしょうし、人の意見を聞くことも必要でしょうし、その中から大切なものを生み出していく、考えていく、こういうことも大事なことだと思っております。大いに期待をさせていただきます。

私どもも、冒頭申し上げましたように、真剣にお答えをさせていただく。それと同時に、厚木市が取り組んでいることも、ぜひこの機会に認識をしていただき、まだ不足していることにも声をいただきたいと思っております。

保護者の皆様におかれましては、平素から市政全般にわたりまして、ご理解、ご協力いただいておりますことを、この席から大変恐縮ですが、厚くお礼を申し上げます。

厚木市では現在、基本的な市政の取り組みの理念といたしましては、市民協働で厚木市の社会をつくっていく。市民協働の協は協力の協です。働の字はにんべんに動、働くということです。協は力3つを足していきましよう、協力し合いましようということです。そして汗をかいて働いていく。こういう姿勢を持っていこうというのが1点。そして現地に出向いて、現地の声をしっかりと受けとめさせていただきます。そのために、現地対話主義。この2つの理念を持って、市政運営の基本とさせていただきます。そんなことも含め、総合計画は、あつぎ元気プランと呼んでおります。

厚木市の将来都市像は何か。「元気あふれる創造性豊かな協働・交流都市 あつぎ」を目指していこうというのが厚木市の将来目標です。抽象的な表現ではありますが、具体的な政策がたくさんございます。今、事業に取り組

んでいる数は、年間に1000件を優に超えていると思います。いろいろな施策、事業を通して市民サービスの向上を目指していく姿勢でいるところであります。

きょうの子ども議員の皆様との関係では、特に教育・子育て関係でありますけれども、厚木市は、子育て・教育環境日本一を目指していこうという明確な目標を立てて、それに向かってやっているところであります。結果、今現在どういう状況下にあるかといいますと、これは民間の調査機関です、ある新聞社の機関の調査です。共働き子育てしやすい街ランキングという調査がありました。これでは、厚木市は神奈川県の中で、おかげさまで第1位という評価をいただきました。

一方、教育環境日本一も掲げているわけでありまして、これには学校、保護者、地域が協働して——先ほどの協働という意味ですね——子供たちの豊かな学びと健やかに成長していくため、曾田教育長が中心となって、コミュニティ・スクールを市内全小・中学校に導入してやっていこうと。これは未来を担う人づくりに向けた学校教育をしていこうということでもあります。

もう1つです。ちょっと時間軸がたっておりますが、2014年に、日本経済新聞、日経グローバルというのが——今、日本には全国で、数が正確でなくてごめんなさい、1700を超える自治体があると思います。そして、今言いました日本経済新聞、日経グローバルの調査に協力された市は812だったと思います、これもちょっと記憶の話ですが。この中で、全国の自治体がどういう市民サービスをし、市民の皆様にも耳を傾けて、そして実践をし、どういう成果を上げているのか、こういうことを含めましてたくさんの調査が入りました。これが2014年の日本経済新聞、日経グローバルの調査です。812の全国の自治体の中から、厚木市はおかげさまで第1位の評価をいただくことができました。

会社もそうですが、自治体も同じように、経営というものを常に頭に入れておかななくてはなりません。それは、皆さん市民から預か

った税金というものを通して仕事をしていくわけでありませんが、自分のお金でも何でもない、市民の皆さんからお預かりしたお金をサービスとしてお返ししていくという考え方です。ですから経営感覚も当然必要になってくる。赤字になったら企業にとっての倒産をしてしまう。こういう状況になってはならないわけでありますので、そういうことも含めて、経営革新度の調査にはそういう結果が出ている。それ以降は今のところ調査が入っておりませんので、一応データとしてお伝えをさせていただきたいと思えます。

きょうの子ども議会を計画していただいたのは、先ほどこでご挨拶されました難波達哉議長を初め厚木市議会28人の方々のご尽力がありました。そして、川口議員、右側にいらっしゃいますけれども、子ども議会の実行委員長として準備をしていただいたことでもありますので、こういう方々のご努力、ご協力もいただいて、きょうの議会の開催となったということです。

お互い知恵を出して、困ったときにはどうするか。批判の中からは新しいものは生まれてこない。知恵と努力をもって、この困難な状況を越えていくためにはどうしていったらいいか。これから、皆さんもそうですし、私どもも、いろいろな壁にぶち当たることもありますが、そういう知恵や努力をもって乗り越えていく。これは先人の方々も同じような思いを持ってきょうまで来たと思えますが、そんな気持ちを持ってやっていきたいと思っております。改めて、本日はどうぞよろしくお願い申し上げます。

以上です。ありがとうございました。

○川口 仁実行委員長 ありがとうございます。

それではこの後、東名中学校・榎本雄也議長の議事進行により、あつぎ子ども議会を進めてまいります。

榎本議長、よろしく願いいたします。

○榎本雄也議長 (注1-1)ただいまの出席議員は28人で定足数に達しております。菅原

淳志議員から欠席の届け出がありました。

ただいまから第3回あつぎ子ども議会(中学生議会)を開会いたします。

本日の議事日程は、お手元に配付してあります日程表のとおりです。(P3注1を参照)

○榎本雄也議長 日程1「議席の指定」を行います。

議席は、厚木市議会会議規則に準じ、議長において指定いたします。

議席番号1番から29番まで、ただいまご着席の議席を指定いたします。

○榎本雄也議長 日程2「会議録署名議員の指名」を行います。

厚木市議会会議規則に準じ、第3回あつぎ子ども議会の会議録署名議員を議長から指名いたします。

森の里中学校・土川優真議員、小鮎中学校・後藤宥輝議員、厚木中学校・牧野亮介議員の3人をお願いいたします。

○榎本雄也議長 日程3「会期の決定」を議題といたします。

お諮りいたします。第3回あつぎ子ども議会の会期は、本日1日とすることにご異議ありませんか。

(「異議なし」との声あり)

ご異議なしと認めます。よって会期は本日1日と決定いたしました。

○榎本雄也議長 日程4「一般質問」を行います。

通告に従い、順次質問を許します。

まず、第1グループの質問から行います。

森の里中学校・土川優真議員。

小鮎中学校・後藤宥輝議員。

最初に、森の里中学校・土川優真議員。

○1番 土川優真議員 (登壇)森の里中学校の土川優真です。よろしく願いします。

私の住む森の里では、子供の人数が少なくなっています。また、その影響でイベントが

なくなってしまうたり、公園が静かだったり、まちが廃れていっているような感じがしています。このまま少子化が進めば、私の母校である小学校や、今通っている中学校が廃校になってしまいます。ほかの学校も人ごとではないと思います。

以上のことから質問します。子供の人数が減っている問題について、どのように考えていますか。

○榎本雄也議長 次に、小鮎中学校・後藤宥輝議員。

○2番 後藤宥輝議員 (登壇) 小鮎中学校の後藤宥輝です。よろしくをお願いします。

今、少子化や高齢化の社会問題が進んでいます。先日ニュースで、3人以上は産まなければならないという発言で話題を呼びました。少子化問題の対策としてはよいかもしれないと思います。しかし、幼稚園、保育園が定員オーバーで入ることができないという問題があります。幾ら産んでも、保育施設が定員オーバーであつたら、少子化問題以前によくはないのではないのでしょうか。

そこで、厚木市の予算で、より子育てしやすいように、保育施設を幾つか設けてはどうでしょうか。今でも、保育施設に入ることができなく、家計が大変という声もあると思います。

質問します。保育施設を設ける考えはあるか、お答えください。

○榎本雄也議長 市長。

○小林常良市長 (登壇) ただいま森の里中学校・土川優真議員から、子供の人数が減っている問題について、どのように考えているかのご質問でございます。

教育委員会の予測では、市内全小・中学校の児童・生徒数は、少子化等により、緩やかに減少していくことが見込まれます。森の里地区につきましても、児童・生徒数の減少が予想されますが、学校は、皆さんが学び交流する大事な施設であるとともに、地域の人たちが活動する場所としての機能や、災害のときの避難場所として、防災上の大切な役割を担っている施設でもあることから、原則とし

て統合や廃校は行わない予定です。

また、厚木市では、人口減少の対応を計画としてまとめたまち・ひと・しごと創生総合戦略をつくり、若い人たちの結婚を応援する取り組みや、子育てしやすいまちづくりなど、今後の人口ができるだけ減らないように対策を行っているところです。

これからも、将来にわたって元気なまちをつくっていくため、少子化対策に取り組んでまいりますので、土川優真議員も、少子化の問題に対する関心を持ち続けていただき、市の取り組みに積極的なご協力をお願い申し上げます。

次に、小鮎中学校・後藤宥輝議員から、保育施設を設ける考えはとのご質問でございますが、厚木市では、保育所待機児童ゼロの実現に総力を結集して取り組んでいます。認可保育所や小規模保育施設の定員につきましては、この2年間で600人以上ふやしたほか、保育士の確保のために、県内で初めて新たな助成金制度を導入しました。このほかにも、育児疲れの解消のための一時預かりや、お子さんが急病の際に活用していただく病児・病後児保育など、多様な保育サービスの提供に加え、中学校卒業まで医療費を無料にする子ども医療費助成や、2人目以降の赤ちゃんを育てる家庭への紙おむつ等宅配事業など、県内トップレベルの施策を実施しています。

この厚木市ならではの取り組みを推進するため、厚木市の予算全体の約4分の1に当たる総額213億円を子供関係に割り当てており、子供1人当たりに換算すると約70万円という、他市を大きく上回る手厚い子育て応援予算となっております。

先ほどもちょっと申し上げましたが、全国には1700を超える市町村がある中で、これらのさまざまな取り組みにより、昨年度、民間調査会社を実施した共働き子育てしやすい街ランキングにおいて、全国で18位、県内で1位という高い評価を得るなど、子育て環境日本一に向けて着実に前進しているものと実感しています。

これからも、全国に誇れる子育て施策を強

力に進めていきますので、後藤宥輝議員も、ご家族やお友達にぜひPRをしていただければと思います。

○**榎本雄也議長** 以上で第1グループの質問を終わります。

次に、第2グループの質問に移ります。

依知中学校・山崎悠稀議員。

厚木中学校・牧野亮介議員。

最初に、依知中学校・山崎悠稀議員。

○**3番 山崎悠稀議員**（登壇）依知中学校の山崎悠稀です。よろしくお願ひします。

私が住む依知地区には、小・中学校合わせて5つの指定避難場所はあるのですが、広域避難場所がありません。もし今後、大きな災害が起きたときのための広域避難場所が私は必要だと思います。以前に、山際あたりを整備してつくられると聞いたことがありますが、今後そのような場所はつくられるのですか。

質問します。山際へ広域避難場所を整備する考えはありますか。

○**榎本雄也議長** 次に、厚木中学校・牧野亮介議員。

○**4番 牧野亮介議員**（登壇）厚木中学校の牧野亮介です。よろしくお願ひします。

僕は、塾の帰り道に、いつも街灯の少ない薄暗い道を通っています。最近、街灯の明かりがLEDになって、街灯の真下はとても明るく感じます。しかし、街灯と街灯の間がとても暗く、塾の帰りはとても怖いのです。

そこで質問します。街灯をもう少しふやしてもらい、あたりをもっと明るくしてもらえませんか。教えてください。

○**榎本雄也議長** 市長。

○**小林常良市長**（登壇）ただいま依知中学校・山崎悠稀議員から、山際へ広域避難場所を整備する考えはありますかとのお尋ねでございますが、厚木市では現在、山際地区に、防災機能を備えた（仮称）北部地区公園の整備計画を進めています。防災公園としては、避難場所としての機能とともに、広域防災拠点の1つでもありますぼうさいの丘公園と同じ役割を持つ公園として計画しているところ

です。公園内には、食料や飲料水、防災資機材などを備蓄するための拠点型防災倉庫や、災害用トイレを整備するなど、安心して避難することができる公園を目指しております。

山崎悠稀議員も、先ごろ発生した大阪北部地震や西日本における豪雨災害などを目の当たりにして、防災や減災の大切さを強く感じたと感じます。これからも、災害時の連絡方法や備蓄品の準備、万が一避難することになった場合はどこに避難するのかなど、ご家族で話し合うとともに、学校や地域で行われる防災訓練などに積極的に参加していただくよう、ご協力をお願いいたします。

次に、厚木中学校・牧野亮介議員から、街灯をもう少しふやしてもらい、あたりをもっと明るくしてもらえないかというご質問ですが、街灯には、道路交通の安全を確保するための街路灯や、歩行者の安全を確保するための防犯灯などがあります。防犯灯は、夜間に安心して安全に歩けるように、自治会からのご要望に基づき、設置の間隔や光の影響など、一定の決まりにより電柱等に設置しております。平成28年度に約1万8000灯の防犯灯を、蛍光灯から、先ほどお話しのとおり、省エネルギーや照度アップにつながるLED灯に交換し、防犯対策に努めております。

牧野亮介議員も、夜遅くに塾等から帰宅する際には、人通りの多い明るい道を通るようにしていただき、防犯灯のない道がもしありましたら、市に情報提供をお願いしたいと思います。

○**榎本雄也議長** 以上で第2グループの質問を終わります。

次に、第3グループの質問に移ります。

南毛利中学校・加藤千宗議員。

林中学校・内田詠里子議員。

林中学校・鳥海綾花議員。

最初に、南毛利中学校・加藤千宗議員。

○**5番 加藤千宗議員**（登壇）南毛利中学校の加藤千宗です。よろしくお願ひします。

昨年、僕は、自転車で車道を走っていたところ、駐車車両があったため車道中心部に入り、とても怖い思いをしました。自転車レー

ンを整備している道を見かけますが、車との距離が近いことや、駐車車両があるので、安心して自転車に乗れません。そして、小学生などが歩道を自転車で走るときに、歩行者と危なく接触しそうなときもあります。皆が安心して自転車に乗れるよう、これまでの自転車専用レーンの整備に加え、自転車が歩道を走ることのできる自転車専用の道を整備してもらえると走りやすいと思います。

質問します。自転車及び歩行者専用の道を整備することはできないのですか。教えてください。

○榎本雄也議長 次に、林中学校・内田詠里子議員。

○6番 内田詠里子議員 （登壇）林中学校の内田詠里子です。よろしくをお願いします。

私は、厚木市がもっと住みやすいまちになってほしいと思います。そこで質問します。街灯やカーブミラーをふやす予定はありますか。

まずは街灯をふやしてほしい理由です。中学生になり、塾で夜遅くに帰ることが多くなりました。私の家から塾までの道には余り街灯がなく、夜はとても道が暗いです。自転車のライトはありますが、遠くまでは明るくならないので、いつも不安な気持ちで塾から帰っています。そのため、私は、暗い道に街灯をつくってほしいと思います。

次に、カーブミラーをふやしてほしい理由です。通学中や遊びに行くとき、曲がり角で自転車にぶつかりそうになったり、歩行者にぶつかりそうになったりしたことがあります。それがとても怖いです。また、歩道でも歩行者同士でぶつかりそうになってしまったことがあります。そのため、曲がった先が見えない歩道、車道に新しくカーブミラーをつくってほしいです。

街灯やカーブミラーがもっと多くなれば、厚木市が住みやすいまちになるのではないかと思います。また、塾や習い事で帰るのが遅い私のような中学生も、不安な気持ちにならないと思います。そのため、私は、街灯やカーブミラーをふやしてほしいです。

質問します。厚木市で街灯やカーブミラーをふやす予定についてお答えください。

○榎本雄也議長 次に、林中学校・鳥海綾花議員。

○7番 鳥海綾花議員 （登壇）林中学校の鳥海綾花です。よろしくをお願いします。

私の住んでいる地域は、車道と歩道の間が狭い道があります。その間の幅を広げることによって、自転車を利用する人も、車を運転する人も、安心して通ることができると思います。

また、最近、自転車と車の接触事故という言葉聞きます。自転車専用道路をつくることによって、事故も防げるのではないかと思います。私も、自転車専用道路を通ってみて、とても安心して通ることができました。中高生など、習い事で自転車を利用する人も少なくはないと思います。自転車専用道路をつくることによって、安心して自転車を利用できると思います。

私は、厚木市がさらによいまちになってほしいと思います。そこで質問します。自転車専用道路をつくる予定はありますか。

○榎本雄也議長 市長。

○小林常良市長 （登壇）ただいま南毛利中学校・加藤千宗議員から、自転車及び歩行者専用の道を整備することはできないのですかとのご質問でございますけれども、道路は車道と歩道などにより構成されており、それぞれの役割や道路の幅にも決まりがある中で、自転車及び歩行者専用の道を整備するには、新たな土地を取得して道路を広げる必要があります。沿線の土地の所有者の方々の協力が必要になります。建物が密集している場合など、新たな用地取得に時間を要することから、限られた道路幅を有効利用して、安心して安全に通行できる道路環境整備に取り組んでいるところです。また、皆さんが安心して自転車に乗ることができるよう、違法駐車の取り締まりを警察に依頼するとともに、自転車の安全利用に関する啓発活動を、引き続き積極的に実施します。

加藤千宗議員も、交通ルールを守ることの

重要性をご家族やお友達にPRしていただくよう、ご協力お願いいたします。

次に、林中学校・内田詠里子議員から、街灯やカーブミラーをふやす予定はありますかとのご質問でございますが、先ほど牧野亮介議員のご質問にも答弁したとおり、防犯灯は、夜間に安心して安全に歩けるように、自治会からのご要望に基づき、設置の間隔や光の影響など、一定の決まりにより電柱等に設置しています。平成28年度には約1万8000灯の防犯灯を、蛍光灯から、省エネルギーや照度アップにつながるLED灯に交換し、防犯対策に努めています。

また、カーブミラーにつきましては、小学校や中学校の通学路の安全対策協議会からのご要望のほか、地域の方からの情報を受けて、現地調査を行い、見通しが悪い交差点にはカーブミラーを設置しています。

これからも、通行する方の安全確保のために、必要な箇所にカーブミラーを設置していきますので、内田詠里子議員も、夜遅くに塾等から帰宅する際に、人通りの多い明るい道を通るようにしていただき、見通しが悪いと思う交差点がありましたら、市や学校、また、厚木市の私どものほうでも結構ですから、ぜひここにカーブミラーが欲しいという情報をいただければ、現地を確認したいと思っております。

続いて、林中学校・鳥海綾花議員から、今後、自転車専用の道路をつくる予定はありますかとのお尋ねでございますが、自転車は、身近な乗り物として、通学通勤など幅広く利用されている一方、自転車の事故も多発していることから、社会問題になっています。

厚木市では、本厚木駅周辺の道路について、平成22年度から自転車走行空間の環境整備を行い、自転車の通行位置や進行方向を道路に表示し、自転車走行の安全確保に努めています。さらに、新しく整備する幹線道路には、自転車専用通行帯を青色で表示しています。これからも道路状況に応じた整備方法を考え、安心して安全に通行できる道路環境整備に取り組んでまいります。

また、厚木市では、自転車の安全な利用に関する決まりとして厚木市自転車安全利用促進条例をつくり、自転車利用者のマナー向上や自転車事故の未然防止にも取り組んでいます。

鳥海綾花議員も、自転車の安全利用について、ご家族やお友達にPRしていただくよう、ご協力のほどお願い申し上げたいと思います。

○榎本雄也議長 以上で第3グループの質問を終わります。

ただいまの第1グループから第3グループの質問に対する答弁について、子ども議員から再質問はございますか。土川議員。

○1番 土川優真議員 ご答弁いただき、ありがとうございます。少子化対策について質問します。

少子化対策ではどのような活動をしていますか。また、今後どのような活動を行っていきますか。教えてください。

○野元 薫政策部長 少子化対策、いわゆる人口減少の部分になろうかと思っておりますので、私のほうからお答えをさせていただきたいと思っております。

市長が登壇でもお話ししたように、今、厚木市では、厚木市人口ビジョン、厚木市まち・ひと・しごと創生総合戦略という、(資料提示) こういうような計画をつくっています。こういう中で、まず、人口が減ってくるのは、もうしようがない部分がありまして、そこを何とか、何も計画をしないでした数よりも何か対策を打って、その減少幅を抑制しよう、少なくしようといった計画になっています。

その中では、今、合計特殊出生率といって、15歳から49歳までの女性の方が平均して何人出産するかという数値なのですけれども、厚木市では平成25年度に1.28という数字が出ています。最終的に目標としておりますのが、2020年、平成32年に1.42まで引き上げようということで、今、数値があるのが平成28年になっていますけれども、1.33ということで、少し上昇しているということになって

います。

それから、定住促進の関係。厚木市は20代の方が転出、厚木市から出ていく、そういった転出超過という部分がありますので、そこを何とか抑制しようということで、平成26年度では187人の方が転出したということですが、現在は逆に転入超過、入ってくる人のほうが多くなったという状況もございます。

それからあとは雇用の創出ということで、就業者数をふやしていこうとか、そういう目標を立てながら対策を講じているということで、大体どういうことをやっているかと申しますと、例えば出会いの場や交流の場、要するに、婚活ってわかりますか。こういうことを市で主催しまして、年に5回ぐらいやっているのですが、カップルも何組か出ておまして、結婚された方も何組かいらっしゃいます。そういうこととか、先ほど市長からいろいろお話がありましたように、子育ての関係、例えば放課後児童クラブを設置して運営していく、あるいは保育所の待機児童の解消に努めていく、そういう積極的な施策を打って、その関係で高い評価を受けているわけですが、そういう子供を産み育てていく環境をきちんとつくっていく対策をしておりますので、これからもそういう部分に力を入れていくことによって、少子化への対策をしていこうと考えているところでございます。

○榎本雄也議長 ほかになければ、以上で終わります。

ここで10分間休憩いたします。

午後2時10分 休憩

午後2時20分 開議

○小林響晃議長 再開いたします。

第4グループの質問に移ります。

東名中学校・井上尚久議員。

東名中学校・岡本拓和議員。

玉川中学校・齋藤純菜議員。

最初に、東名中学校・井上尚久議員。

○8番 井上尚久議員 (登壇) 東名中学校の井上尚久です。よろしく申し上げます。

2020年以降の教育改革では、今までと違

い、思考力や判断力、協調性を育てることに重点が置かれています。

質問します。厚木市は、2020年以降の教育改革によって、何がどのように変わっていくと考えていますか。

○小林響晃議長 次に、東名中学校・岡本拓和議員。

○9番 岡本拓和議員 (登壇) 東名中学校の岡本拓和です。よろしく申し上げます。

今、日本では、教育現場でのいじめが社会問題となっているので、質問したいと思えます。

平成28年度での日本の小・中学校、高校、特別支援学校におけるいじめの認知件数は32万3143件となっています。厚木市は、厚木市いじめ防止対策委員会を設置していることを市ホームページで見ましたが、どのような対策をとっているのかが具体的にはわかりません。

いじめの対策について、厚木市は現在どのようなことをしていて、これからどのようなことをしていくのか、教えてください。

○小林響晃議長 次に、玉川中学校・齋藤純菜議員。

○10番 齋藤純菜議員 (登壇) 玉川中学校の齋藤純菜です。よろしく申し上げます。

玉川中学校は、インクルーシブ教育の推進校です。インクルーシブには、英語で包み込むという意味があります。インクルーシブ教育とは、つまり、障害のある子供とない子供のどちらも過ごしやすく、一緒に学ぶことを目指した教育です。

先生方は、わかりやすい授業をしたり、物事を明確に伝えるなど、やってくださっていることはすぐに幾つか挙がります。しかし、子供たち自身のすべきことはないのでしょうか、できることはないのでしょうか。

私たち子供は、インクルーシブ教育のために、具体的には何をしたらよいのか教えてください。

○小林響晃議長 教育長。

○曾田高治教育長 (登壇) 東名中学校・井上尚久議員から、厚木市は、2020年以降の教

育改革による対応によって、何がどのように変わっていくと考えていますかとのご質問ですが、これからの社会は、人工知能の進化等による絶え間ない技術革新により、予測が困難な時代になると言われています。そのような社会においては、未知への状況にも対応できる思考力、判断力、表現力、他者と協働していく課題を解決する力などを身につけることが求められます。

厚木市では、全ての小・中学校に導入したタブレットを使用し、友達との積極的な意見交換によって自分の考えを深めるアクティブラーニングの視点を取り入れた授業への転換を始めています。また、皆さんが未来社会を切り開くために求められる資質、能力とは何かを、学校と地域社会が共有し、さまざまな場面で連携する新しい取り組みとして、全ての小・中学校にコミュニティ・スクールを導入しました。今後は、地域の人たちが、学校の応援団として皆さんの学校生活を支えてくださいます。

井上尚久議員のように、世の中の動きや教育の変化について自分から興味を持ち、考えようとする姿勢は、とても大切です。ぜひ勉強やいろいろな活動に積極的に取り組む中で、これからの社会に必要な力を身につけていってください。

次に、東名中学校・岡本拓和議員から、いじめの対策について、厚木市は現在どのようなことをして、これからどのようなことをしていくのかのご質問ですが、厚木市では、いじめ防止対策委員会を設置し、いじめをしない・させない・見逃さないをスローガンとする厚木市いじめ防止基本方針をつくりました。このことを受けて、各学校でもいじめ防止基本方針をつくり、さまざまな取り組みを行っています。例えば、東名中学校で取り組んでいる心のつばやきアンケートや、生徒会の皆さんがよりよい人間関係づくりを目指して始めたあいさつ運動なども、その取り組みの1つになります。

厚木市では、これからも、学校だけでなく家庭や地域でもできることを、いじめ防止対

策委員会で継続的に協議を続け、いじめゼロを目指して全力で取り組んでまいります。岡本拓和議員も、友達や先生方とのつながりを大切にするとともに、優しい気持ちで人と接し、いじめのない学校づくりを目指してください。

次に、玉川中学校・齋藤純菜議員から、私たち子供は、インクルーシブ教育のために、具体的には何をしたらよいのでしょうかのご質問ですが、厚木市では、毛利台小学校と玉川中学校が、神奈川県の研究推進実施校としてインクルーシブ教育に取り組み、障害のあるなしにかかわらず、全ての児童・生徒がともに学び、生き生きと活躍できる学校を目指しています。中学生の皆さんができることは、クラスや学校で困っている人がいたら、何ができるのか、どうすれば解決できるのかを考え、話し合い、実践することです。

例えば、玉川中学校では、音に敏感な人でも落ちついて学習に取り組める工夫として、教室の椅子の足に軍手のカバーをかぶせています。このような、障害のあるなしにかかわらず、誰もが生活しやすい環境をつくる工夫について、クラスや生徒会で話し合ってみてください。その際、校内に段差や死角があるなど移動に支障はないか、掲示物は見やすく内容がわかりやすいか、授業や日常生活で困っている人への声かけは適切に行われているかなど、インクルーシブな学校として、課題がないか点検することも大切です。

齋藤純菜議員を初めとする玉川中学校の皆さんには、生徒による主体的なインクルーシブ教育への取り組みを、広く市内の小・中学校に発信していただきたいと思います。

○小林響晃議長 以上で第4グループの質問を終わります。

次に、第5グループの質問に移ります。

小鮎中学校・渡邊杏議員。

厚木中学校・望月海璃議員。

陸合東中学校・常盤美海議員。

最初に、小鮎中学校・渡邊杏議員。

○11番 渡邊 杏議員（登壇）小鮎中学校の渡邊杏です。よろしくお願いいたします。

私が通う小鮎中学校では、北部学校給食センターから給食を届けていただいています。とてもありがたいことなのですが、味や見た目が余りよくなく、学校全体の生徒からも指摘があります。その結果、残食が多く、給食費も無駄になったり、生徒のモチベーションも下がってしまいます。午前中の授業や活動を頑張っ、て、やっと落ちつける唯一の時間なので、できれば給食はおいしいものであってほしいと思います。また、食事は学校のやる気や学力の向上にも関係している、ので、とても重要であると思います。

そこで質問します。学校給食をもっとおいしくできないでしょうか。

○小林響晃議長 次に、厚木中学校・望月海璃議員。

○12番 望月海璃議員（登壇）厚木中学校の望月海璃です。よろしくお、願いします。

僕は野球部に所属しています。放課後の練習は最終下校時刻に合わせて行っています。3月は午後5時半で、4月から午後6時になります。厚木市が定める愛のチャイムは、3月と4月が午後5時です。4月の場合、は約1時間も時間に差があります。3月や4月の時点で最終下校時刻が午後5時半や6時だと、もうあたりも暗く、生徒に危険が生じるおそれがあり、また、今の社会は不審者や誘拐事件もふえてきています。

そのことを踏まえて質問します。学校の最終下校時刻を決める基準を教えてください。

○小林響晃議長 次に、睦合東中学校・常盤美海議員。

○13番 常盤美海議員（登壇）睦合東中学校の常盤美海です。よろしくお、願いします。

私からの提案です。現在、睦合東中学校では、ISSと言って、安心安全な学校を目指していく国際的認証に向けての取り組みを行っています。生徒会活動では、いじめゼロの木やオレンジボン運動のほか、全ての委員会で安心安全な学校に向けての取り組みを行っています。これらの活動を毎年考え、実践していくことで、年々いじめや暴力をする人の数が減っているように感じます。

厚木市全体で、安心安全な学校に向けて共通の取り組みを行ったら、きつ、といじめや暴力をする人も減ると思います。学校に通う全ての人が、楽しいと思えるような学校になったらうれしいです。

そこで質問します。このようなISSに向けての活動を厚木市のすべての小・中学校で行う考えはありますか。

○小林響晃議長 教育長。

○曾田高治教育長（登壇）小鮎中学校・渡邊杏議員から、学校給食をもっとおいしくできないでしょうかとのご質問ですが、厚木市では、平成19年度から、県内の他市に先駆けて、中学校給食を実施してきました。栄養士は、成長期の皆さんが食に関心を持つよう、郷土料理や地場産野菜を取り入れ、季節に合わせた献立、栄養のバランスを考慮して味つけに工夫するなど、おいしく食べていただけるように、さまざまな取り組みを行っています。また、給食の食材についても、保護者や先生の代表が、品質や味などを確認して選定しています。

こうした状況の中、栄養士による学校訪問の回数をふやして、生徒の皆さんの生の声を聞いていきたいと考えています。味つけには好みがあると思いますが、栄養士が学校に伺った際は、献立や給食で気づいたことについて教えてほしいと思います。

これからも、給食に関係する全ての人が協力して、渡邊杏議員を初め生徒の皆さんにおいしいと感じてもらえる給食が提供できるように努力していきます。

次に、厚木中学校・望月海璃議員から、学校の最終下校時刻を決める基準はとのご質問ですが、夕焼け小焼けの放送、いわゆる愛のチャイムについては、幼児や小学生も含め、帰宅時間の目安として、地域ぐるみで帰宅を促す声かけをする時間として設定されています。

中学校の最終下校時刻は、部活動や委員会活動等の時間を確保するため、夕焼け小焼けの放送よりは遅い時刻の設定になっています。各中学校では、学区の広さや通学路の状

況、日没の時刻などを考慮しながら、生徒の皆さんが安全に帰宅できるように、最終下校時刻を定めています。しかし、日によっては、最終下校時刻を迎える前に暗くなることもありますので、先生方が生徒の皆さんに、最終下校時刻を守ることに加え、できるだけ友達と一緒に下校することや、防犯ブザーを持つことを呼びかけています。

望月海璃議員も、生徒の皆さんと、事件や事故から身を守るための手だてなどを話し合い、安心安全な学校生活づくりを目指してください。

次に、睦合東中学校・常盤美海議員から、ISSに向けての活動を厚木市のすべての小・中学校で行う考えはとのご質問ですが、睦合東中学校の皆さんが、ISSのさまざまな活動を通して、安心安全の意識の向上を図れたことは大きな成果であり、素晴らしいことであると思います。ことしは、ISSの再認証に向け、生徒会が中心になって、いじめ・暴力行為の減少や防災・防犯に対する意識の向上などに取り組んでいると聞いています。

校内けがマップの作成やオレンジリボン運動などの睦合東中学校の取り組みは、さまざまな形で多くの市立小・中学校に広がりを見せています。教育委員会では、全ての小・中学校でISSの理念に基づいた学校づくりがさらに児童・生徒主体の取り組みで行われるよう支援していきます。

常盤美海議員を初め睦合東中学校の皆さんは、これからもISSの活動に誇りを持ち、その知恵と実践を生かして、全ての学校のリーダーとして活躍してほしいと思います。将来、皆さんが大人になったときに、地域において取り組みを進める担い手となることを期待しています。

○小林響晃議長 以上で第5グループの質問を終わります。

ただいまの第4グループ及び第5グループの質問に対する答弁について、子ども議員から再質問はございますか。——別になければ、以上で終わります。

ここで10分間休憩いたします。

午後2時39分 休憩

午後2時48分 開議

○蒲生音杏議長 再開いたします。

第6グループの質問に移ります。

厚木中学校・市川純暉議員。

厚木中学校・川津颯大議員。

最初に、厚木中学校・市川純暉議員。

○15番 市川純暉議員（登壇）厚木中学校の市川純暉です。よろしくお願ひします。

僕は、よく相模川の近くの広場で野球の練習をしています。そこに行くときに相模川沿いの道路を渡るのですが、その道路をととても速いスピードで車が走ることがよくあります。とても危険で、怖い思いをした友達もいます。

そこで質問します。道路に凹凸の減速帯をつけ、車のスピードを抑えるなどの対策はできないでしょうか。厚木市の考えを教えてください。

○蒲生音杏議長 次に、厚木中学校・川津颯大議員。

○16番 川津颯大議員（登壇）厚木中学校の川津颯大です。よろしくお願ひします。

僕のお父さんは、雨の日に外で歩くのが怖いと言っていて、僕も雨の日の通学で転びそうになったことがあります。僕の家周りの道は、急な傾斜があります。そこがぬれているとよく滑り、また、転びやすくなっていると感じています。このことから、雨でぬれていても滑らず、転びにくい道にしてほしいと思います。

そこで質問します。滑りやすい歩道の改善はできないのでしょうか。教えてください。

○蒲生音杏議長 市長。

○小林常良市長（登壇）厚木中学校・市川純暉議員から、道路に凹凸の減速帯をつけ、車のスピードを抑えるなどの対策はできないでしょうか、厚木市の考えはとのご質問でございますが、速度を抑制する対策として、ご提案いただいた道路に凹凸の減速帯を設置する方法のほかにも、文字や立体に見える図形

を路面に表示する方法や、看板を設置し注意を促す方法など幾つかの方法がありますので、現地を調査し、交通管理者である厚木警察署と連携を図りながら、最善の対策を実施していきます。

市川純暉議員も、交通事故をなくすために交通ルールを守ることの重要性について、日ごろからお友達と話題にしてみたいと思います。

次に、厚木中学校・川津颯大議員から、滑りやすい歩道の改善はできませんかとお尋ねでございますが、歩道については、安全に通行できるよう、道路設計指針に基づいて、滑りにくい舗装にすることとなっております。また、急傾斜地の歩道につきましては、より効果的な滑り止め舗装を施工するなど、歩行者のより安全な通行の確保に努めていきます。

川津颯大議員を初め子ども議員の皆さんも、雨の日の通学時には、足元には十分気をつけて、けがのないよう元気に通学していただきたいと思います。

○蒲生音杏議長 以上で第6グループの質問を終わります。

次に、第7グループの質問に移ります。

東名中学校・米山遼議員。

東名中学校・阿閉純也議員。

森の里中学校・小島里奈議員。

最初に、東名中学校・米山遼議員。

○17番 米山 遼議員（登壇）東名中学校の米山遼です。よろしくお願ひします。

厚木市の木はもみじ、市の花はさつきだと、市のホームページを見て知りました。どちらも市内を歩いてよく見かけますが、厚木市の木、厚木市の花はどのようにして決まったのですか。また、今後変更されるようなことはありますか。教えてください。

○蒲生音杏議長 次に、東名中学校・阿閉純也議員。

○18番 阿閉純也議員（登壇）東名中学校の阿閉純也です。よろしくおねがひします。

僕のお母さんは外国人で、日本に働きに来てお父さんと出会いました。現在、僕のお母

さんのように、多くの外国の方が日本に住んでいます。厚木市も例外ではないと思います。

厚木市では、外国の方の生活や教育について、どのような政策をとっているのか、具体的に教えてください。

○蒲生音杏議長 次に、森の里中学校・小島里奈議員。

○19番 小島里奈議員（登壇）森の里中学校の小島里奈です。よろしくお願ひします。

2年後に行われる東京オリンピック・パラリンピック競技大会の支援事業について質問します。

厚木市は、ニュージーランド女子7人制ラグビーチームの事前合宿の受け入れを行う予定になっていて、支援事業として留学プログラムなどの交流事業を行っているかと学校で知りました。私は英語にとっても興味があり、身近なところで生かしてみたいと思っています。

質問します。東京オリンピック・パラリンピック競技大会期間中に、英語を生かせるようなボランティア活動などの中高生が参加できる支援事業は何か検討されていますか。お答えください。

○蒲生音杏議長 市長。

○小林常良市長（登壇）東名中学校・米山遼議員から、厚木市の木、厚木市の花はどのように決まったのですか。また、今後変更されることはありますかのご質問ですが、市の木、市の花は、米山遼議員を初め、きょうおいでの子ども議員の皆さんが生まれる30年以上前になります、昭和44年2月1日に制定されたということであります。明治100年を記念して、市民の皆様から、厚木市の新たなシンボルとなる市の木、市の花のアイデアを募り、市民投票を行った結果、もみじとさつきに決定したものであります。

もみじやさつきは、長い間、多くの市民の皆様にご親しんでいただいておりますので、今後変更する予定はありませんが、例えば厚木市が市制施行100周年などの節目の年を迎えたときには、市民の皆様にご親しまれるような新

たなシンボルの制定などを検討することもよい取り組みだと思えます。

米山遼議員も、市の木、市の花をご家族やお友達など多くの方に広めていただくとともに、将来、ぜひ新たな厚木のシンボルについて斬新なアイデアをご提案いただきたいと思います。

次に、東名中学校・阿閉純也議員から、厚木市では外国の方の生活や教育について、どのような政策をとっていますかとお尋ねでございますが、厚木市では、外国の方が地域で快適に生活していただくために必要な、例えばごみ出しの方法や災害時の避難場所、日本語教育のパンフレットなどを、転入手続の際に市民課窓口でお渡ししています。また、市のホームページでは、英語を初め6カ国語による外国語翻訳ページを開設し、厚木市のイベントや生活の情報を発信しています。さらに、小・中学校では、児童・生徒の母国語が話せる日本語指導協力者を派遣し、日本語指導だけでなく、地域の生活になれるための支援も行っています。

2020年には東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されます。そのときには、今以上に外国の方が厚木市に来られることが予想されますので、阿閉純也議員を初め子ども議員の皆さんも、厚木市に来られる多くの方々に、おもてなしの心を持って接していただくようお願いを申し上げます。

次に、森の里中学校・小島里奈議員から、東京オリンピック・パラリンピック競技大会期間中に、英語を生かせるようなボランティア活動などの中高生が参加できる支援事業は検討されているかのご質問でございますが、厚木市では、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会のニュージーランドのホストタウンの1つとして、さまざまな分野で交流事業を行っております。その交流事業の一環として、小学生を対象としたAKGあつぎキッズガイド育成プロジェクトや、中学生、高校生を対象としたニュージーランドへの留学プログラムなどを実施しています。

これらの事業では、2020年に厚木市を訪れ

るチームやその家族、観光客に対して、市内の案内などをするために必要な英語力を習得していただくとともに、諸外国の文化を学び、グローバルな人材を育成することを目的としています。現在、こうした事業で身につけた英語力を生かして活躍できる場を提供できるよう、検討しているところです。

小島里奈議員も、ぜひ厚木市が進める事業に参加し、さらに英語力を磨いていただき、厚木市を訪れる外国の方々をおもてなししていただくとともに、将来、世界で活躍していただけることを期待しております。

○蒲生音杏議長 以上で第7グループの質問を終わります。

ただいまの第6グループ及び第7グループの質問に対する答弁について、子ども議員から再質問はございますか。市川純暉議員。

○15番 市川純暉議員 ご答弁ありがとうございます。再質問します。

車のスピードを抑えるなどの対策の中で、文字や看板などの対策方法も教えてもらいましたが、どの方法が一番最善と思われますか。教えてください。

○足立原 満道路部長 ただいま市長からもご説明させていただいたと思いますけれども、やはり一番はスピードを落とすというもの。先ほど文字や立体的に見えるというものもありまして、厚木市では現在、実際に凹凸ができるという、これをハンブと呼んでいるんですけれども、それを設置しているところはないのですね、立体的にしてスピードを落とすようなものは。それはなぜかといいますと、やはり近隣にお住まいの方に振動が伝わったり、また音が出る。これは夜間なんですけれども、そういうことがあって、一時期、設置した事例もあったのですが、それは今撤去している。

今お尋ねの何が一番効果があるかということになりますと、今、立体的なものが一番効果があるのかなと私は思いますが、やはり近隣の方たちに騒音とか振動で迷惑をかけるということもありますので、私のほうで今、実績としてあるのは、イメージハンブといいま

して、先ほど市長が申し上げたとおり、立体的に見える。これは、色とかそういうので実際にそこに障害物があるように見えるというものを、今、厚木市では、依知のところと、あと厚木環状3号線とって毛利台、その2カ所に、イメージハンプという形で立体に見えることはやっております。

ただ、それにつきましては、実際には凹凸があるわけではありませんから、普通に通れるのですけれども、やはりそれを見ることによってドライバーの方たちが、何かあるなということで減速していただけたということもありますので、私は、そのイメージハンプというのは非常に効果があるのかなと。

しかしながら、やはり一番は、そこを通るドライバーの方たちのマナーの向上ということで、看板とかイメージハンプというのも非常に効果があると思うのですが、最終的にはやはりドライバー一人一人の方に訴えていくことが大切ではないかと考えております。

○蒲生音杏議長 川津颯大議員。

○16番 川津颯大議員 ご答弁ありがとうございます。再質問します。

先ほど歩道は滑りにくくなっているとご答弁してくださいましたが、僕はバスセンター付近の道が滑りやすいと感じています。バスセンター付近の道も滑りにくくなっているのでしょうか。

○足立原 満道路部長 今回の川津颯大議員のバスセンターの周辺ですが、そこはタイル舗装になっていると思います。やはりタイルですと、どうしても雨にぬれたときに、確かに多少滑りやすいということは私も実感しておりますので、今後、タイル部分をいかに滑りにくくするか。やはりある程度経過してきますと、最初のうちはざらざらして滑りにくかったものが、だんだん年を経過しますとすり減るといようなこともあると思いますので、やはり私のほうも現場の状況をよく見ながら、非常に滑りやすい状況になっていけばタイルを張りかえるというか、今、張るようなシールで滑りどめ効果があるような製品もございますので、ちょっと現場のほうを確認

して、非常にすり減ったり、滑りやすくなっているような状況が見られる箇所があれば、ちょっとそういう滑りどめのシールとかを張りまして、安全に努めてまいりたいと思います。

○蒲生音杏議長 ほかになれば、以上で終わります。

ここで10分間休憩いたします。

午後3時10分 休憩

午後3時19分 開議

○臼井大樹議長 再開いたします。

第8グループの質問に移ります。

林中学校・金井実乃里議員。

玉川中学校・飯田稔彦議員。

最初に、林中学校・金井実乃里議員。

○20番 金井実乃里議員 (登壇) 林中学校の金井実乃里です。よろしくお願いします。

厚木市に野球場をつくる予定はありますか。

私がこの質問をしてみようと思った理由は、私自身が野球部として活動していて、会場のことについて疑問に思ったことがあったからです。厚木市で大会をするときなどに、1回戦目を中学校で行うことが少なくありません。現在、厚木市には、厚木野球場、玉川野球場と2つの会場があるのですが、1日に4試合程度が限界です。もし片方の会場がその日に使えないとなってしまうと、中学校を会場にするしかないときがあります。

少しでもいい場所で私たちとしては野球がしたいので、厚木市に野球場をつくる予定はあるかどうかについて質問します。

○臼井大樹議長 次に、玉川中学校・飯田稔彦議員。

○21番 飯田稔彦議員 (登壇) 玉川中学校の飯田稔彦です。よろしくお願いします。

私の家族は、市のスポーツ施設をたくさん使うほどスポーツ好きです。兄弟は4人それぞれ、スケートボードや陸上競技、バスケットボールなどの施設を利用しています。兄がしているスケートボードについて言えば、オリンピック種目ともなりましたが、専門に練

習できる場所がありません。今回は練習場についての質問です。

ぼうさいの丘公園にスケートボード場がありますが、多目的広場として利用するような注意書きの看板が立てられています。スケートボードは真剣に練習をするとスピードも出るので、小さな子供がいると危険なことも多くあります。走る、座り込むなどをする人たちがいるところでの練習は、ぶつかったりして危険です。

ぼうさいの丘公園のバスケットボールコートについても、多目的化していて、バスケットボールとして利用できないことがあります。広い場所での多目的利用なら危険も少なくなると思うのですが、スケートボード場やバスケットボールコート等は、最初は専門的に利用するためにつくられたところなので、それほど広い場所ではありません。いろいろな目的の利用者がいるところでは練習もしにくいし、危険だと思います。

そこで、スポーツ施設の利用について、安全に利用するための改善策について質問します。

○臼井大樹議長 教育長。

○曾田高治教育長（登壇）林中学校・金井実乃里議員から、厚木市に野球場をつくる予定はあるかのご質問ですが、現在、スポーツ施設につきましては、平成26年度に作成しましたスポーツ施設整備推進計画に基づき整備を行っているところであり、野球場を含む大型スポーツ施設につきましても、計画に位置づけ検討しています。これからも計画的に施設の整備などを行い、スポーツ環境の充実に努めてまいります。

中学生の皆さんが野球をする場所につきましては、市内にある猿ヶ島野球場、飯山グラウンドの利用や、大学などの野球場をお借りすることも1つの方法ではないかと思えます。金井実乃里議員も、部活動の野球を初め、スポーツを通して心身を鍛え、充実した学校生活を過ごしていただきたいと思えます。

○臼井大樹議長 市長。

○小林常良市長（登壇）玉川中学校・飯田稔彦議員から、スポーツ施設の利用について、安全に利用するための改善策はとのご質問でございますが、ぼうさいの丘公園のスケートボード場につきましては、スケートボードやローラースケートなどの専用広場となっています。また、バスケットゴール及びサッカーゴールが設置されたミニコートは、バスケットボールやサッカーだけでなく、テニスやキャッチボールなどにも利用いただける多目的広場となっています。施設のご利用にしまして、利用される皆様がルールとマナーを守り、お互いに譲り合うことなどにより、安全にご利用いただけるものと考えております。

飯田稔彦議員も、皆様と仲よく施設をご利用いただき、スポーツを楽しみながら、すばらしい学生生活をお送りください。

○臼井大樹議長 以上で第8グループの質問を終わります。

次に、第9グループの質問に移ります。

東名中学校・小野寺快理議員。

厚木中学校・新井大輝議員。

最初に、東名中学校・小野寺快理議員。

○22番 小野寺快理議員（登壇）東名中学校の小野寺快理です。よろしくお願ひします。

僕は、厚木市がどのように発展していくのかが知りたくて、厚木市のホームページで調べてみると、森の里東土地区画整理事業が行われていることがわかりました。森の里東土地区画整理事業での施行面積は約68ヘクタールと、今までの区画整理と比べて広目の部類に入ります。また、施行期間も今までのものと比べて長いです。それについて質問します。

今回の森の里東土地区画整理事業では、どのようなメリットがあるのですか。また、森の里東土地区画整理事業以外にも区画整理する予定、構想などはありますか。具体的に教えてください。

○臼井大樹議長 次に、厚木中学校・新井大輝議員。

○23番 新井大輝議員（登壇）厚木中学校の新井大輝です。よろしくお願ひします。

僕は、いつも歩いて中学校へ登校しています。学校に行く途中、シャッターが閉まった店がたくさんあり、何だか寂しい気がします。最近は駅前にマンションばかりで、活気がないと思います。10年後、僕たちは社会に出ていると思います。そのころの厚木市はどうなっているのか、強い不安を感じます。教えてください。

厚木市として未来に向けて、まちの活性化のためにどのようなことをしているのですか。

○臼井大樹議長 市長。

○小林常良市長（登壇）東名中学校・小野寺快理議員から、森の里東土地地区画整理事業では、どのようなメリットがあるのですか。また、森の里東土地地区画整理事業以外にも区画整理する予定、構想などはありますかとのご質問でございますけれども、森の里東土地地区画整理事業は、厚木西高校に隣接した約68ヘクタール、東名中学校の約28個分の区域を対象に事業が進められています。この事業は、道路や下水道などの都市基盤整備を進め、新たな産業拠点として企業誘致を図るための広大な産業用地をつくり出す事業で、2024年の完了を目指しています。事業のメリットといたしましては、新たな企業が進出することで、雇用の創出・拡大につながり、厚木市の地域経済・産業の活性化に貢献すること、さらに、市税がふえることで公共サービスの質の向上や安定的な提供が図られることが挙げられます。

また、市内では、森の里東地区のほか、新東名高速道路厚木南インターチェンジの北側に当たる南部産業拠点酒井地区の約27ヘクタール、さがみ縦貫道路圏央厚木インターチェンジの西側に当たる山際地区の約27ヘクタール及び山際北部地区の約17ヘクタールについても、良好な交通利便性を生かし、土地地区画整理事業に向けた準備を進めています。

現在、厚木市では、将来にわたって活力あるまちであり続けるための都市基盤整備の推

進に重点的に取り組んでいます。小野寺快理議員も、ぜひ期待と関心を持って見守っていただくようお願いをいたします。

次に、厚木中学校・新井大輝議員から、厚木市として将来に向けて、まちの活性化のためにどのようなことをしているかのご質問でございますが、本厚木駅周辺につきましては、市民の皆様や厚木市を訪れる人々が集まる、活力とにぎわいのある魅力に満ちたまちを目指しており、現在、本厚木駅南口の再開発を進めるとともに、厚木バスセンター周辺の整備を計画しています。また、かながわグルメフェスタやあつぎジャズナイト、にぎわい爆発あつぎ国際大道芸などを開催することにより、中心市街地のにぎわい創出を図っています。さらに、マンションを建設するときには、1、2階に店舗や事務所などを誘導するとともに、空き店舗対策として、新たに出店する事業者に対し、改修費や家賃の補助をするなど、まちの活性化に努めています。

今後につきましても、厚木市の将来を見据えた中で、さまざまな機能を取り込んだ憩いの場や安心安全なまちづくりなど、歩いて楽しいまちを実現することが大事であると考えています。

新井大輝議員も、将来の中心市街地の活性化に期待していただくようお願い申し上げます。

○臼井大樹議長 以上で第9グループの質問を終わります。

次に、第10グループの質問に移ります。

厚木中学校・尾羽澤士議員。

厚木中学校・佐々木蒼議員。

最初に、厚木中学校・尾羽澤士議員。

○24番 尾羽澤士議員（登壇）厚木中学校の尾羽澤士です。よろしくお願ひします。

僕は、小学校のころに厚木中央公園の遊具で遊んでいました。この前、遊具の更新工事が行われて、幼児、児童、大人向けの3世代が利用できるテーマごとの遊具になりました。自分たちが今遊んでいると、今の遊具より昔の遊具のほうが楽しかったと感じます。

質問します。中学生が公園の遊具で楽しみ

るポイントについてどのように考えていますか、教えてください。

○**臼井大樹議長** 次に、厚木中学校・佐々木蒼議員。

○**25番 佐々木 蒼議員**（登壇）厚木中学校の佐々木蒼です。よろしくお願ひします。

来年度の荻野運動公園の利用について質問します。

まず、ラグビーの日本代表選手が厚木市で練習するという話を聞いたのですが、それは本当なのでしょうか。また、もし練習されるとしたら、市民の利用はどのようになるのか教えてください。

僕が質問しようと思ったきっかけについて話します。僕は陸上部に所属しています。競技場での練習があるのですが、ラグビーの日本代表等が厚木市で練習すると聞いて、荻野運動公園が利用できるか心配になって質問しました。このように不安に思っている人は僕だけではないと思います。教えてください。

ラグビーチームのキャンプ受け入れにより、荻野運動公園を利用する方にはどのような影響がありますか。

○**臼井大樹議長** 市長。

○**小林常良市長**（登壇）厚木中学校・尾羽澤士議員から、中学生が公園の遊具で楽しめるポイントはとのご質問ですが、厚木中央公園は、多世代が楽しめる遊具にリニューアルし、多くの方々にご利用いただいております。中学生の皆様には、健康遊具を利用して体力づくりをすることや、多目的広場でダンスやランニング等のスポーツを楽しんでいただければと思います。また、豊かな発想力で、お友達と屋外ゲームを考えて遊ぶことなども、楽しく公園を利用するポイントの1つであると思います。

尾羽澤士議員も、多くのお友達と一緒にスポーツやレクリエーションの場として、楽しく公園をご利用いただければうれしく思っております。

次に、厚木中学校・佐々木蒼議員から、ラグビーチームのキャンプ受け入れにより、荻野運動公園を利用する方にはどのような影響

がありますかとのご質問ですが、現在、スタジアム、トラック及びフィールドは、老朽化に伴いリニューアル工事を行っています。なお、荻野運動公園では、平成31年度に行われるラグビーワールドカップのキャンプは実施されませんので、通常どおり使用可能となっています。

佐々木蒼議員も、日々絶え間ない練習を行っていると思いますが、来年度はきれいになった競技場で自己記録を更新できるよう、部活動に励んでいただきたいと思います。

○**臼井大樹議長** 以上で第10グループの質問を終わります。

ただいまの第8グループから第10グループの質問に対する答弁について、子ども議員から再質問はございますか。厚木中学校・新井大輝議員。

○**23番 新井大輝議員** ご答弁ありがとうございます。再質問します。

厚木市に緑をふやしていく予定はありますか。

○**沼田芳基都市整備部長** 緑をふやすということでございますが、私の所管しているところでは公園緑地ということで、緑地と公園の整備を行っているところでございます。主に公園のことをお話しさせていただきますと、公園の数につきましては、現在、都市公園として235公園ほどございます。この公園を人数で割りますと1人当たりの大体の面積が出てくるのですが、それを今、もう少しふやそうというような計画をしております。

その関係につきましては、厚木市には緑の基本計画というような本がございます。その本に、大体今この辺が足りていない、この辺に公園をつくっていきたいというところが明記されております。そういうところの公園をふやし、また緑をふやしていこうというような計画をしております。

○**臼井大樹議長** 厚木中学校・尾羽澤士議員。

○**24番 尾羽澤 士議員** ご答弁ありがとうございます。再質問します。

公園でボール遊びができるようになります

か。

○沼田芳基都市整備部長 公園でボール遊びができるかどうかというご質問だと思いますけれども、全ての公園でできるというわけではございませんが、公園によってはできる公園がございます。具体的に申しますと、依知のほうの上ノ原公園とか、南のほうに行きますと長沼公園、こういうところは、野球と言っても正式な野球はできないのですが、そういうものができる場所もございます。あと、小さい公園につきましては、できないような形で注意看板ができております。

公園によってできる場所、できないところがございます。注意看板がございまして、そういうところを見ていただいて、楽しく使っていただければと思っております。

○臼井大樹議長 玉川中学校・飯田稔彦議員。

○21番 飯田稔彦議員 ご答弁ありがとうございます。再質問します。

専門に利用できる場所が少ないというのもあると思います。なので、多目的に利用できる場所や、専門に利用できる場所をふやすというのはできないでしょうか。

○沼田芳基都市整備部長 お尋ねのぼうさいの丘公園の関係で申し上げますと、市長が登壇で申しましたように、スケートボード場につきましては、インラインスケート、またローラースケート、ブレイブボード等の使用が限られてございまして、ヘルメットとか、そういったものをつけて滑っていただくところでございます。あと、バスケットゴールがありますミニコートにつきましては、バスケットゴールが1基ございまして、そこでバスケットの練習、サッカーゴール、テニス用の壁等がございまして。

公園というのは公の園と書きますけれども、1つのものに対して特化したつくりになってございません。その中でもスケートボード場というのは、ある程度そういった皆さんがここでできるようなものをぼうさいの丘公園ではつくっているような状況でございます。一般的な公園としましては、1つの特化

したようなものをつくっていただくような方にいろいろな形で使っていただくような公園という形で、厚木市の公園はつくってございます。

○臼井大樹議長 厚木中学校・佐々木蒼議員。

○25番 佐々木 蒼議員 ご答弁ありがとうございます。再質問します。

厚木市ではラグビーチームのキャンプが行われないということですが、ほかにラグビーチームと厚木市のかかわりはありますか。

○吉岡廣幸オリンピック・パラリンピック担当部長 ワールドカップの関係につきましては、先ほどお話しさせていただいたような形で、今回、公認チームキャンプ地の選から漏れてしまったような形になっておるのですが、ラグビーの交流に関しましては、厚木市につきましては、ニュージーランドのホストタウンというような位置づけになってございます。いろいろな競技に関しまして、厚木市が支援をする形になってございます。現在も、ゴルフであったりとか、バスケットであったりとか、そういう類いのものも含めまして、ラグビーに関しましても引き続き、そういうかかわりを持っていくような形で推し進めているところでございます。

○臼井大樹議長 ほかになければ、以上で終わります。

○臼井大樹議長 以上で本日の日程は終了いたしました。

これをもちまして、第3回あつぎ子ども議会（中学生議会）を閉会いたします。

○難波達哉議長 皆様、本日は大変お疲れさまでした。活発な議会になったと思っております。

依知中学校・山崎悠稀議員より、子ども議員を代表して、最後に感謝の言葉をいただきます。

山崎悠稀議員、お願いします。

○3番 山崎悠稀議員 子ども議員起立。礼。

依知中学校3年の山崎悠稀です。28人の子ども議員を代表して、お礼の言葉を申し上げます。

きょう、私たちは、この本会議場に集まり、まちづくりや、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けての取り組み、学校生活についてなど、さまざまな内容について質問をさせていただきました。一つ一つの質問について丁寧に答えていただき、とてもよい経験をすることができました。

自然、経済、産業が活気にあふれ、子育てしやすさ神奈川県1位のこのまちに、誰もが住み続けたいと思い、ほかの市や県、海外の人に住みたいと思ってもらえるような厚木市にするために、自然や文化を守り、一人一人が努力をしていかなければならないことを改めて感じました。きょうの経験を今後の生活に生かし、地元愛を持って、厚木市民として生活していきたいと思えます。

以上、子ども議員を代表して、お礼の言葉とさせていただきます。本日は貴重な経験をさせていただきました、本当にありがとうございました。

子ども議員礼。

着席。

○難波達哉議長 山崎悠稀議員、ありがとうございました。

最後に、小林常良厚木市長から、子ども議員の皆様メッセージをいただきます。よろしくお願ひします。

○小林常良市長 28人の議員の皆様、お疲れさまでございました。肩が張りませんでしたか、大丈夫でしたか。

今、山崎悠稀議員から、いいお言葉をいただきましたね。地元愛を大切にしていきたい。そうなのですね。この厚木のまちも、私たちの大先輩の先人の方々が、たくさんいろいろ、こうしたい、ああしたいと希望を持ってやってきて、厚木が現在まで来たということです。現在、私たちが、先人の方々がつくっていただいたそういう立場で、今のいろいろな諸課題にチャレンジをしているところでありますし、これをすれば全部がかなうとい

うのは、この社会の中にはなかなかないと思えます。

先ほど、人口をふやすために厚木市さんは何をしているのですかというご質問もありましたけれども、1つのことをすれば人口がふえてくるのかというと、そういうものでもありません。一言で言うと、住みよいまちにしましょうとか、快適なまちにしましょうとか、言葉ではそうなのですが、全体の一つ一つのグレードとか密度とか、そういうものを少しずつ上げていくということ。それがあって初めて社会環境が充実してくる。

さあ、充実したら人はふえるのか。これは、人の生き方の問題とか、物事の考え方とか、そこにはいろいろ、また新たな課題が発生してくると思えます。いろいろな物事を進めますが、1つのことをすれば全てが淘汰されるというか——プラスのほうの意味ね、達成できるということだけでは、なかなか社会として進んでいかない。

だから、あらゆる政策、さっき皆さんには1人頭70万円のお金をかけさせていただいていますというお話もしました。では、70万円がいいのか、50万円で方法はないのか、100万円かけたほうがいいのか、こういう議論も大事だ。そういうことを、今、難波議長初め議会の皆さんと話し合いを進めている。

きょうは、皆さんのそれぞれの思いをしっかり聞かせていただきました。公園が欲しい、キャッチボールできる場所が欲しい、自転車専用で安全に走れる自転車道が欲しい、ごもっともな話です。そこに向かって努力していく。こういうことを忘れずに、先ほど言いましたように一つ一つやっていくということが、今この厚木市に求められていることです。

さあ、次は皆さんの時代です。皆さんがこの厚木市を背負うのです。きょうはそのスタートの場なのかもしれませんが、今度は責任を負っていくのです。そういう年にこれからなっていくのだと思えますし、皆さんが、なるほど、この先輩方はこれまでやってくれたのだということを実感、理解してもら

えるような形になるために、子どもは全力でやっつけようと思っております。

きょうの席に座られて、どんな感じを受けられたかは、皆さん議員の方々一人一人、感覚は違うと思いますが、言えることは、皆さんがこれから数十年したら、この地を背負っていくという状況になることも自覚をしながら、きょう質問いただいたことで今できること、これもたくさんあると我々も思います。そういうふうに感じました。でも、冒頭話しましたように、ちょっと知恵を出すと、皆さんの中だけでも解決することもあるのかもしれませんが。こういうことも必要だと。だから一緒に協力して、汗をかいて働いていきましょう、市民協働の社会をつくりましょう、こういう目標を持ってやっつけようと思いません。

とにかく自分にはないものは、憧れであったり、欲しかったりするわけですがけれども、でも、もっと大事なことは、自分がどうやってこの地を足で踏んで生きていくか、そういう主体性とか創造性とか独自性とか、こういう気持ちを持ちながら、やはりある意味ではオンリーワンなのかもしれませんが、そういう気持ちを持って、これから大いに皆さん、飛躍していただきたいと思います。ご期待を申し上げ、きょうお世話になりましたこととお礼申し上げます。

なお、子ども議会に関係して、市議会の難波議長初め、川口委員長初め、議員の皆さん、大変お疲れさまでございました。

傍聴者の皆さん、まことにありがとうございます。

以上で感想コメントにさせていただきますので、よろしく願います。

ありがとうございました。

○難波達哉議長 市長、ありがとうございます。

以上をもちまして終了とさせていただきます。

上記会議のてんまつを記載し、その相違ないことを証し、ここに署名する。

厚木市議会議長	難	波	達	哉
子ども議員	土	川	優	真
同	後	藤	宥	輝
同	牧	野	亮	介

午後 3 時 55 分 閉会